

## 地域子育て支援の質的向上を図るためのネットワークづくり事業

事業主体 名称：NPO法人子ども達の環境を考えるひこうせん

住所：備前市伊部1455

事業実施場所 備前市ふれあい交流拠点「くるみの森」

～事業を始めるにあたって～

目的：地域で支え合う子育ての促進を目的に、各地に「地域子育て支援拠点事業」「もっこステーション」などの整備が進んできたが、ここ数年間の社会状況の変化に対応した支援の質的向上には十分目を向けられていない状況がある。支援者のための学習機会を通じて支援者としての基礎的な力量を再確認し、スキルアップを図るための学びや、支援者同士のつながりの中で成長する機会を提供し、地域子育て支援の向上をめざす。

概要・方法：

- ネットワーク学習会の開催
  - ・地域子育て支援拠点等従事者 基礎講座①、②
  - ・地域子育て支援拠点等従事者 発展研修
- 情報発信
  - ・SNSによる情報発信
  - ・登録による継続した情報提供

～事業実施内容～

### ネットワーク学習会

<第1回>

- ① 事業名 地域子育て支援拠点等従事者 基礎講座①
- ② 参加人数 岡山県下の地域子育て支援者 24名
- ③ 日時 令和2年11月11日（水）13：30～15：30
- ④ 場所 リフレセンターびぜん
- ⑤ 内容 講師：NPO法人子ども達の環境を考えるひこうせん  
代表理事 赤迫康代  
内容：①地域子育て支援の役割  
②子どもの育ちを支えるかかわり



⑥ 活動の成果等 （受講生のアンケート感想より抜粋）

- ・子育て支援の役割、スタッフの役割など基本的なことを改めて学ぶことが出来た。
- ・支援拠点の背景、子育て支援の必要性について再認識できた。
- ・地域子育て支援が求められた背景から、その事業についてのこと、そしてみえてくる現状から

支援者の関わりをどのようにしたらよいか…など流れを追って考えることが出来た。さらに現状の関わり方で終わらず、質を高めるための学び・ワークショップも勉強になった。

- ・学ぶ内容は難しいはずなのだが、講師の温かく丁寧な伝え方のせいかわかりやすい進め方だなあと感じた。学びだけでなく、その場に集った支援者を一つの気持ちにさせる感じがとてもよかった。今後、本日のように支援者同士が交流し、学び、活動を情報交換する場に積極的に参画していきたいと思った。

### <第2回>

- ① 事業名 地域子育て支援拠点等従事者 基礎講座②
- ② 参加人数 岡山下の地域子育て支援者 19名
- ③ 日時 令和2年12月16日(水) 13:30~15:30
- ④ 場所 リフレセンターびぜん
- ⑤ 内容 講師：NPO法人子ども達の環境を考えるひこうせん  
代表理事 赤迫康代  
内容：①親の育ちを支える環境づくり  
②地域で支え合う子育て



### ⑥ 活動の成果等 (受講生のアンケート感想より抜粋)

- ・「子育て支援とは、人が育つ場所でありたい」の言葉が心に残った。そのために多様なニーズに気づき、ひろばがあるからこそできることを皆で一緒に考えながら、困った時には信頼できる仲間を頼り、皆が笑顔になれる居心地の良い場を今後も提供していきたい。
- ・親の育ちの支援をいろいろな方向から考えることができた。
- ・人は大切だなと今回もつくづく思った。人の話を聴いたり、自分の思うことを話したりする中でふりかえり、学んでいき、そのことが子育て支援、お互いの子育ての中で成長できると思った。

### <第3回>

- ① 事業名 地域子育て支援拠点等従事者 発展研修 (オンラインによる研修)
- ② 参加人数 岡山下の地域子育て支援者 28名
- ③ 日時 令和3年1月28日(木) 13:30~15:30
- ④ 場所 リフレセンターびぜん
- ⑤ 内容 講師：赤ちゃんの眠り研究所  
代表理事 清水悦子先生  
内容：『赤ちゃんの眠りのために、支援者としてできること  
～乳幼児睡眠の専門知識を学ぶ～』



#### ⑥ 活動の成果等 (受講生のアンケート感想より抜粋)

- ・子どもの睡眠には、生活リズムと寝かしつけの習慣が大きく関係していることを知り、目の前に見える状況のさらに奥の背景を親と一緒に寄り添って考えていくことが大切だと感じた。
- ・伝え方、聞き方を考えつつ、悩んでいる方とお話していきたいと思う。学びの場の必要性も感じたので、そういう機会を設けるときの役に立つと思った。
- ・現在、一時保育事業に携わっているが、お昼寝や夜泣きのことについてのことをたくさん学べたので保護者の方へ良いタイミングで伝えていきたいと思った。
- ・オンラインでしたが、一つ一つの言葉が分かりやすくて学びが深まった。

#### 情報発信

##### ○SNSによる情報発信

目的：HPやFacebookなどを活用して子育て支援に役立つ内容を発信し支援の向上を図る。

対象者：子育てや、子育て支援に関心のある方。

実施時期：11月以降に、ひこうせんのHPにて告知。

HPの「子育て支援者のための講座・研修会」の項目にアップ。

実施内容：ネットワーク学習会で実施した研修内容を、HPやFacebookなどで発信し、参加できなかった方々にも子育て支援に役立つ内容を広めていった。

##### ○メール登録による継続した情報提供

目的：支援者の方々が継続的に子育て支援に関する学習への意欲を高め、長期的に学び続けられるシステムを構築する。

対象者：県内の子育て支援関係の方々。

登録者数：基礎講座時：21名 発展研修時：8名 合計29名

実施時期：R2年12月3日（木）、12月17日（木）に配信。

実施内容：学習会に参加した方やその他子育て支援に関心のある方などを対象にメール登録制度を作り、子育て支援の研修案内や地域子育て支援に関する情報を配信した。

～事業を終えて～

##### ○事業実施による効果

県内各地に「地域子育て支援拠点事業」「ももっこステーション」などの整備が進み、地域で支え合う子育てを推進しているところだが、拠点に携わる人材育成に課題を抱えている団体も多い。また、職員の入れ替わりのため新人スタッフの育成や、新たに拠点などを立ち上げようと頑張っている方々も、子育て支援の基礎を実践的に学ぶ機会が少ないという現状がある。

そのような現状を考慮して、今回の「基礎講座」「発展研修」では、「基礎研修」に2回通して参加された方17名の方に修了証書を発行することができた。県民局管内を中心とする子育て支

援者の方々から、定員を超える申し込みがあり、「基礎講座」においてはキャンセル待ち10名というニーズの高さを実感した。

「基礎講座」は、社会状況の変化に対応した支援の質的向上に着目して、支援者としての視点を再確認する内容で提供した。同時に、今後も継続してスキルアップを図っていくことを呼びかけたところ、続けて半数の方が「発展研修」に申し込みをされ、学ぶ場が求められていることを感じた。

「基礎講座」が2回コースであったことや、その後、継続して「発展研修」へも参加された方も多かったことにより、参加者同士が顔を合わせる機会が重なり交流が深まりやすかった。連絡を取り合ったり、お互いの活動場所に足を運ばれる姿も見られ、つながりが促進された。

「発展研修」では、赤ちゃんの睡眠について専門的に学ぶことができ、日ごろ、子育て支援活動の中で相談の多い「夜泣き」「寝かしつけ」「お昼寝」などへの見識が深まった。支援の現場で早速活かすことができたと喜ばれていた。

#### ○今後の課題・展開

今年度は、コロナ感染拡大のため「発展研修」がオンライン開催になった。オンラインであっても、深い内容を届けて頂くことはできたが、できれば直接講話をお聞きできるよう開催時期を工夫していきたい。今回の講座受講生の大半の方が、メールによる子育て支援情報の受信を希望されアドレス登録をされた。そのシステムを活かして、子育て支援者に役立つ情報をメールで提供させていただきながら、支援者同士が顔を合わせる機会を作っていけるようにし、ゆるやかなネットワークが構築されるよう働きかけをしていきたい。

#### ○まとめ

身近な場所に子育て支援拠点が無いという現状に向き合い、自ら親子の居場所を立ち上げようと積極的に動かれている方々が講座に熱心に参加して下さった。公的な制度が届きにくい地域の親子にも子育て支援が届けられるよう、スタッフの人材育成やネットワークづくりを通して支援していくことの必要性が明確になった。

また、長年支援に携わっている方も、基本に立ち返る貴重な機会であったという感想を頂いた。子育て支援の充実によって、子どもを産み育てることの喜びが感じられる社会が築かれ、少子化対策や待機児童問題の解消にもつながるよう支援の質の向上を目指して、今後も学びの機会を大切に継続していきたい。